

第五十一回帝國議會
衆議院

府縣制中改正法律案(政府提出)外六件

府縣制中改正法律案(政府提出)市制中改正法律案(政府提出)町村制中改正法律案(政府提出)北海道會法中改正法律案(政府提出)北海道地方費法中改正法律案(政府提出)水利組合法中改正法律案(政府提出)徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案(政府提出)

委員會會議錄(速)第二一回

會議

大正十五年三月二日(火曜日)午前十時
三十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 荒川 五郎君

理事 由谷 義治君
理事 高橋熊次郎君

高木 正年君 齊藤 隆夫君

清水留三郎君 淺賀長兵衛君

工藤 鐵男君 加藤 鯛一君

澤田 利吉君 青木知四郎君

松實喜代太君 植原悅二郎君

石坂 豐一君 大口 喜六君

赤間嘉之吉君 小橋 一太君

奥野小四郎君 加藤鏖五郎君

田口 文次君 土屋清三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣兼 若槻禮次郎君

內務大臣 若槻禮次郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 俵 孫一君

內務省地方局長 潮 惠之輔君

內務書記官 田中廣太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

內務書記官 石原雅二郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
府縣制中改正法律案(政府提出)
市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)
北海道地方費法中改正法律案(政府提出)
提出)

水利組合法中改正法律案(政府提出)
徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案(政府提出)

○荒川委員長 是ヨリ府縣制中改正法律案外六件ノ委員會ヲ開キマス、先ヅ大體ノ質問ヲ順ニ依テ御紹介致シマス、小橋一太君

○小橋委員 私ハ委員會ニ於テ別ニ御説明ガアリマセヌケレバ、本會ニ於ケル內務大臣ノ提出理由ノ御説明ニ對シマシテ、大體ノコトヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、地方自治ノ權限ヲ擴張シテ中央集權ノ弊ヲ矯メ、分權ノ實ヲ舉ゲ、地方團體ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトノ必要ナルコトハ申スマデモアリマセヌ、是ト共ニ地方自治權ノ擴張ハ事務ノ簡捷、能率ノ増進、經費ノ節約モ伴ウテ爲シ得ルノデアリマシテ、行政整理ノ完壁ヲ期スル上ニ於テ最モ必要ナルコトト信ジマス、尙ホ一面ニ於キマシテハ自治制施行セラレマシテ既ニ十數年ヲ經過シタル今日ニ於キマシテハ、地方ニ於ケル自治ノ思想、又市町村行政ニ對スル經驗モ十分ニ進ミ來ッタ今日デアリマスガ故ニ、吾々ハ常ニ此地方自治權ノ擴張ヲ重要ナル政策ノ一トシテ唱導シ來タッタデアリマスルガ、今回政府ニ於テ地方制度ノ改正ヲ企テラレルニ付キマシテ、其提案理由ノ要綱ガ四ツニ分ケテ御説明ニ相成タル中ニ於テ、第四項ノ地方自治權擴張ニ付テ最モ重キヲ置カレテアルヤウニ思ヒマス、其御説明ノ中ニ「地方自治權殊ニ市町村自治權ノ擴張ハ今回ノ地方制度ニ關スル改正法律案ニ於ケル改正事項中最モ重要ナル意義ヲ有シテ居ル云々」而シテ終リノ方デ「自治體ノ自立及獨立ノ意義ヲ阻害シテ真正ナル自治ノ發達ヲ期スル所以テナイ」ト云フコトヲ言ッテ居ッテ、監督權ノ緩和ヲ圖ッテ居ラレルノデアリマス、斯ノ如ク地方自治權ノ擴張ニ付テ政府ガ意ヲ用ヒラレタト云フコトニ付テハ、吾々モ所見ヲ同ジクスル所デアッテ、大ニ喜ビトスルノデアリマスガ、然ルニ地方制度改正ノ全體ヲ通覽致シマスルト、單ニ市町村ニ對スル監督權ヲ省略シテ、幾分市町村團體ノ自由意思ヲ認メラレタト云フニ過ギナイノデ、大ニ自治權ヲ擴張シテ眞ノ自治ヲ行ハントスル大臣ノ説明ノ御趣旨ニ對シテ、自治權擴張ノ大精神ガ徹底シテ居ナイヤウニ考ヘルノデアリマス、自治ヲ擴張スル方法ト致シマシテハ、單ニ監督權ヲ緩和スルバカ

治權ノ擴張ヲ重要ナル政策ノ一トシテ

唱導シ來タッタデアリマスルガ、今回政府ニ於テ地方制度ノ改正ヲ企テラレルニ付キマシテ、其提案理由ノ要綱ガ四ツニ分ケテ御説明ニ相成タル中ニ於テ、第四項ノ地方自治權擴張ニ付テ最モ重キヲ置カレテアルヤウニ思ヒマス、其御説明ノ中ニ「地方自治權殊ニ市町村自治權ノ擴張ハ今回ノ地方制度ニ關スル改正法律案ニ於ケル改正事項中最モ重要ナル意義ヲ有シテ居ル云々」而シテ終リノ方デ「自治體ノ自立及獨立ノ意義ヲ阻害シテ真正ナル自治ノ發達ヲ期スル所以テナイ」ト云フコトヲ言ッテ居ッテ、監督權ノ緩和ヲ圖ッテ居ラレルノデアリマス、斯ノ如ク地方自治權ノ擴張ニ付テ政府ガ意ヲ用ヒラレタト云フコトニ付テハ、吾々モ所見ヲ同ジクスル所デアッテ、大ニ喜ビトスルノデアリマスガ、然ルニ地方制度改正ノ全體ヲ通覽致シマスルト、單ニ市町村ニ對スル監督權ヲ省略シテ、幾分市町村團體ノ自由意思ヲ認メラレタト云フニ過ギナイノデ、大ニ自治權ヲ擴張シテ眞ノ自治ヲ行ハントスル大臣ノ説明ノ御趣旨ニ對シテ、自治權擴張ノ大精神ガ徹底シテ居ナイヤウニ考ヘルノデアリマス、自治ヲ擴張スル方法ト致シマシテハ、單ニ監督權ヲ緩和スルバカ

リデナク、寧ロ地方團體ノ機關ノ組織

方法、選任ノ方法、權限ノ分配、竝ニ監督ノ程度ヲ緩和スルト云フコトデアッテ、監督ノ方法ヲ幾分緩和シテ、認可、許可ノ如キコトヲ省略スルト云フコトハ、自治權監督ノ方法トシテハ單ニ其一部ニ過ギナイノデアリマス、大ニ自治權擴張ヲ唱導セラレナガラ、團體機關ノ組織方法、或ハ府縣會、府縣知事ノ選任方法等ニ考慮サレナイ、又權限ノ擴張ニ付テ御考慮相成ラナカッタト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ考ヘマスガ、政府ニ於ケル地方制度改正ノ方針ガ、或ハ普通選舉ニ依ル衆議院議員選舉權被選舉權ノ擴張ト相伴ウテ、地方團體ノ選舉權被選舉權ニ於テモ其擴張ヲ行フト云フコトノ爲ニ、其必要上カラ改正シ、又郡役所廢止、郡廳ヲ廢シタル結果トシテ、町村ニ對スル監督方法ノ改正ヲ爲ス範圍ニ止メタイト云フ意味デアレバ、兎ニ角、自治權擴張ト云フ趣旨ナラバ、先ニ私ノ申上ゲタ意見ノヤウニ機關組織選任、機關ノ權限迄及バナケレバ、今日ノ時勢ノ要永ニ應ジタル自治權ノ擴張デナイト思フノデアリマス、其意味ニ於テ大臣ニ具體的ニ一二御尋シテ見タイト思ヒマス、第一ニハ府縣會ノ權限擴張ニ付テ御尋致シタイ、郡制ヲ廢止シテ地方ノ團體ヲ二階級ト致

シマシタ以上、自治權ノ擴張ヲシテ府縣ト市町村ノ二箇ノ自治團體ノ發達ヲ期スルコトハ、郡制廢止ノ時ニ於ケル精神デアリマス、然ルニ市町村ニ對シテハ此度幾分監督權ノ緩和ヲサレタノデアリマス、固ヨリ府縣ニ於テモ一箇條程認可ノ制度ヲ止メテ居リマスガ、現在ノ府縣ト市町村ノ自治ノ範圍ハ私ヨリ申上ゲル迄モナク、現行法ハ市町村ニ於テハ十分ニ廣イ自治權ヲ與ヘテ居リマスケレドモ、府縣ハ大ナル制限ヲ蒙ッタ自治團體デアアル、官治自治混同シタヤウナ形ニナッテ居リマス、眞ノ自治團體ト云ハレナイノデアリマス、其理事者タル所ノ執行機關ハ官選ノ府縣知事ガ府縣ヲ代表シ、其事務ニ當ル所ノ者モ官選ノ高等官ヲ以テシテ居リマス、議決機關タル所ノ府縣會、即チ民意ヲ代表シ、自治ノ精神ヲ發揮スベキ所ノ府縣會ハ市町村會ト違ッテ、單ニ府縣ノ財政事項ニ對スル決議權ヲ有スルノミデ、制限シタル權限ヲ有シテ居ルノデアリマス、今日ノ場合府縣知事下ノ理事者ハ官選ト爲スコトハ已ムヲ得ナイト致シマシテモ、民意ヲ暢達スベキ所ノ選舉ニ依ル所ノ府縣會ハ、尙ホ一層其權限ヲ擴張シテ、地方自治權ヲ十分ニ發達セシムルコトガ必要デアラウト思ヒマス、ソレ故ニ御伺シタイ要點ハ、現在市制ノ四十一條、町村制ノ三十九條ニハ市會町村會ハ市町村ノ事件ニ關シテハ一切ノ決議ヲ爲シ得ルヤウニ

ナッテ居リマス、府縣會モ今日ノ時勢ニ應ジテ市町村會同様に其權限ヲ擴張シテ、總テノ府縣ニ關スル行政事務ノ決議ヲ爲シ得ル權限ヲ與ヘタナラバ、眞ノ自治ノ精神ヲ發揮シ得ル段取ニナラウト私ハ信ズルノデアリマスガ故ニ、第一ニ府縣會ノ權限擴張ニ付テ大臣ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス、モウ一御尋シタイノハ、矢張ソレト關連シテ居リマスガ故ニ同時ニ茲ニ御尋致シマスガ、府縣ノ自主權、即チ法規制定ノ權ヲ府縣ト云フ團體ニ認メルノ必要ガ今日ノ時勢ノ要求デハナイカ、是ハ市制第十二條、町村制第十條ニ於テ市條例、町村條例ノ制定ノ權限ヲ團體ニ認メテ居ル、サウシテ市ノ住民並ニ町村民ノ權限義務ニ關スル法規制定ノ途ガ開イテアルコトハ、申上ゲル迄モナイ事デアリマス、而シテ今日ノ大都市ノ如キ、二百萬以上ノ人口ヲ有シ、其財政ニ於テモ、市ノ條例ニ於テ市民ノ權利義務ヲ規定シテ居ルノデアリマス、ソレデ府縣ニ對シテモ矢張團體トシテ法規制定ノ途ヲ開イテ、府縣會ノ議決ヲ經テ市條例、町村條例ト同様ナル權限ヲ與ヘマシタナラバ、是モ亦自治權ノ發達ニ大ニ資スル所アラウト思ヒマスガ故ニ、此權限擴張ヲシテ、條例制定權ヲ府縣ニ任スヤ否ヤト云フコトニ付テ極ク大體ニ付テ大臣ニ伺ヒタイト思ヒマ

ス、尙ホ其御答辯ヲ得マシタ後ニ三四項極ク簡單ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス、○若槻國務大臣 只今御質問ニナリマシタコトハ御尤ナ事柄デアリマス、今日地方制度ノ改正ヲ要スルト致セバ、只今提出スル所ノミニ止ラズ、今一般ノ自治體ノ權限ヲ擴張スル所マデ早晚及バナケレバナラスト存ジマスガ、今回ハ丁度御質問中ニモサウデアラウカト云ッテ御推測ニナリマシタ通り、昨年所謂普通選舉ナルモノガ衆議院選舉法ニ認メラレマシタ爲ニ、府縣制以下ノ議員ノ選舉權被選舉等ガ是ト餘リニ變ツテ居リマスコトハ、如何ニモ權衡ヲ得ナイコトニナリマスカラ、ドウシテモ其關係デ直サナケレバナラスト、主トシテソレカラ起ッタ今回ノ地方制度ノ改正案デアリマス、其關係カラ直サナケレバナラスト所ヲ、同時ニ茲ニ急ニ改善シタ方が必要ダト云フ改正ヲ加ヘタニ止ッテ、今ノ權限擴張ト云フコトハ市町村ノ監督ノ上デ稍擴張サレタ以外ノ所ニ餘リ及ンデ居リマセヌノハ、全ク其上カラ起ッタ次第デアリマス、勿論府縣制ニ於テモ認可許可ノ條項ハ殘ッテ居リマシテモ、是ハ他ノ法令ノ規定ニ依テ內務大臣ガ行ッテ居リマスコトハ、地方長官ニ委任スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマスカラ、差支ナイ限りハ其方面カラ尙ホ地方長官ニ委任スルモノヲ多クシテ、其間ニ自ラ認可許可ノ條

項ガ省カレタト同ジヤウナ結果ヲ生ゼシムルヤウニ致シタイト思ッテ居リマス、而シテ具體ノ御質問トシテハ府縣會ノ權限ヲモット擴張スル考ハナイカ、是ハ早晚ハ左様ニ致スコトガ必要デアラウト思ヒマス、府縣ノ自治モ發達スルノミナラズ、丁度御指摘ニナッタヤウニ、是カラハ府縣ト云フ自治體ト市町村ト云フ自治體デ、所謂地方ノ自治ヲ執行シテ行カナケレバナラストデアリマスカラ、ソレニ付テハ地方自治體ノ議政機關タル府縣會ノ權限ヲ相當ニ擴張スルト云フコトハ必要デアラウト思ヒマス、是ハ今回ハ提案シテ居リマセヌケレドモ、徐々ニ調査攻撃ヲ積ミマシタ上ニ、其方面ニ向ッテノ改善モ企ル考デアリマス、尙ホ府縣會ノ條例制定ノ權限ヲ與ヘタラドウカ、是モ私ハ御尤ト思ヒマス、本當ハ今日ノヤウニ豫算デ物ヲ定メテ其豫算ノ標準トスル所ノ法規ノヤウナモノハ一向定メテ置カヌト云フコトハ、私共ハ餘リ面白クナイト思ヒマス、本當言ッたら根本ノ條例ノヤウナモノヲ拵ヘテ、之ニ基イテ豫算ヲ組ンデ行クト言ッタヤウナ風ガ一層宜クハナイカト思フテ居ル位デアリマスガ、追々サウ云フヤウナコトニ實行シテ行カヌケリヤナラスト思ヒマスケレドモ、前申上ゲル通り今回ハ所謂普通選舉ニ伴ッタル府縣制以下ノ改正、郡役所ヲ廢止スルト云フコトニ伴ツタル、市制、町村制等ノ改正、主ニ此

點ニ於テ立案ヲ致シタモノデアリマス
カラ、只今御質問ノヤウナ事ニマデ及
ンデ居リマセヌガ、御質問ノ趣旨ニハ
少シモ異議ハアリマセヌノデ、追々ニ
ハ其所マデ改善ヲ企テヌケリヤナラヌ
ト思ウテ居リマス

ノ名譽職參事會員トシテ縣會議員中ヨ
リ互選セラレタル者ガ這入ッテ居ル、私
ノ間ハントスル所ハ、現在官吏ノ二名、
若クハ知事ハ議長トシテデアリマス
ガ、參事會員トシテノ議決權モ併セテ
有シテ居リマスルガ故ニ、要スルニ官吏
ノ投票權ガ三票這入ッテ居リマス、是ハ
府縣ノ官吏トシテ、一方ニハ提案シタ
ル議案ヲ説明スベキ當事者タル性質ヲ
有シテ居ル者デアリマスル故ニ、議決
機關ノ性質カラ申シマシテ、殊ニ自治
ノ代表機關タル性質カラ申セバ、此理
事者タル所ノ官吏ガ加ッテ居ルコトハ、

官吏ヲ加ヘタモノデ、是ハ一時ノ便宜
デアッタト思ヒマス、既ニ今日地方ノ自
治思想モ發達シ、又府縣會議員等ニ於
テモ十分ニ地方行政事務ニ熟練、練達
ノ士ガ多イ今日ニ於キマシテハ、府縣
參事會員ハ府縣知事ヲ議長トスルノ
外、全部縣會議員互選ノ人ヲ以テ組織
スル方ガ自治ノ精神ニ副ヒ、眞ノ自治
ガ行ハレルコトニナラウト思ヒマスル
ガ故ニ、寧ロ此官吏ノ參事會員タル者
ハ廢止シタラ如何デアラウカ、此度政
府ニ於テ議案審查權ヲ廢メルト云フコ
トニナッテ居リマスルガ、其説明ノ理由
ヲ見マスレバ、其議決ガ殆ド効力ガナ
イト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ事務
ノ滯滯ヲ來スト云フ二ツノ理由ヲ以テ

ス、即チ府縣會ニ多數ヲ擁シナガラモ、
縣參事會ニ於テハ、府縣會ノ多數ノ意
見ガ縣參事會ニ現レナイト云フヤウナ
コトガ無イトモ限ラヌ、ソレデ往々ニ
シテ官吏參事會員アルト云フコトハ、
地方ノ政爭ノ具ニ供セラレ、縣當局ニ
於テモ往々惡用スルコトガアルノデア
リマス、ソレ故ニ双方ノ意味カラシテ
官吏參事會員ヲ廢メテ、全部縣會議員
互選ノ參事會員ヲ以テ府縣參事會ヲ組
織スルト云フコトハ、自治ノ精神ニ適
合シ、又既往ニ於ケル弊害モ除去スル
コトガ出來得ルト信ジマスルガ故ニ、
此點ニ對スル大臣ノ所見ヲ伺ヒタイト
思フノデアリマス、其次ニハ府縣參事
會ノ定員ノコトデアリマス、是ハ少シ
細カクナリマスケレドモ、趣旨ニ於テ
ハ自治權擴張ノ趣旨ニ於テ申上ゲル積
リデアリマス、現在府縣參事會ノ定員
ハ府ガ十名ト記憶致シマス、縣ガ八名、
此定員ハ選舉方法ヲ變更シテハ如何ト
思フノデアリマス、府ナルガ故ニ十名、
縣ナルガ故ニ七名ト云フコトハ何等理
由ハナイ、是ハ從來三府ト稱シテ此制
定當時ニ於テハ京都府ノ如キガ非常ニ
力ノアツタカモ知レマセヌガ、人口ニ於
テモ、財力ニ於テモ、制定後三十四年ヲ
經タ府縣發達ノ狀況カラ見マスレバ、
例ヘバ兵庫縣ノ如キ、或ハ福岡縣ノ如
キ、或ハ愛知縣ノ如キ、縣トハ言ヒ條、
施行後財力モ非常ニ殖エテ府縣會議員
ノ定數カラ申シテモ、京都府ハ僅ニ三

點ニ於テ立案ヲ致シタモノデアリマス
カラ、只今御質問ノヤウナ事ニマデ及
ンデ居リマセヌガ、御質問ノ趣旨ニハ
少シモ異議ハアリマセヌノデ、追々ニ
ハ其所マデ改善ヲ企テヌケリヤナラヌ
ト思ウテ居リマス

○小橋委員 時代ノ要求ハ一日モ早ク
自治權ノ擴張、自治團體ノ完成ヲ要望
シテ居ルヤウニ存ジマスルガ、大臣ノ
御答辯ニ依リマシテ、追々其點ニ考慮
ヲ盡サウト云フ趣意デアリマス、成ベ
ク早イコトヲ希望致シマス、其次ニ此
度ノ此提案ノ中ニ第三項ニ御述ベニ
ナッタ自治機關ノ整齊、ソレニ府縣參事
會ノ權限、所謂議案審查權、ソレト府
縣參事會ノ選舉ノ方法等ガ這入ッテ居
リマスルガ、私ノ御尋致シタイノハ、此
府縣參事會ノ現在ノ組織ヲ變更致シテ
ハ如何デアラウカ、所謂組織變更ノ問
題デアリマス、府縣參事會ハ申上ゲル
マデモナク、府縣會ノ代議機關トモ申
スベキ性質ノ議決機關デアッテ、矢張自
治ノ精神カラ申シマシテ、府縣會ト相
竝ンデ重要ナル議決機關デアリマス、
民意暢達ニ必要ナル府縣會ノ代議機關
デアリマス、故ニ其組織内容ニ付テモ、
成ベク眞ノ自治ノ精神ヲ發揮スルヤウ
ニ組織シタ方ガ宜カラウト云フ考ヲ私
ハ持ッテ居ルノデアリマス、是モ自治權
伸張ノ方法トシテ現在ハ府縣知事、府
縣ノ高等官二名ノ外ニ、府ニ於テ八十
名ノ名譽職參事會員、縣ニ於テハ八十

ノ名譽職參事會員トシテ縣會議員中ヨ
リ互選セラレタル者ガ這入ッテ居ル、私
ノ間ハントスル所ハ、現在官吏ノ二名、
若クハ知事ハ議長トシテデアリマス
ガ、參事會員トシテノ議決權モ併セテ
有シテ居リマスルガ故ニ、要スルニ官吏
ノ投票權ガ三票這入ッテ居リマス、是ハ
府縣ノ官吏トシテ、一方ニハ提案シタ
ル議案ヲ説明スベキ當事者タル性質ヲ
有シテ居ル者デアリマスル故ニ、議決
機關ノ性質カラ申シマシテ、殊ニ自治
ノ代表機關タル性質カラ申セバ、此理
事者タル所ノ官吏ガ加ッテ居ルコトハ、
寧ロ自治ノ精神ニ背反シハセヌカト思
フノデアリマス、是ハ府縣制施行當時
ニ於テ、一時ノ便宜トシテ、又府縣參事
會ノ權限トシテ訴願等ノ裁決ガアッテ、
法令——事務的の仕事ガ府縣參事會ニ
加ッテ居ル點カラシテ、事務ニ精通セル
官吏ヲ加ヘ置ク必要ガアツタカラデモ
アラウト思ヒマスケレドモ、府縣會ハ
明治十三年ニ置カレタノデ、モウ府縣
會置カレテ四十有七年ニナッテ居ル、而
モ府縣會設置當時ニ於テハ、御承知ノ
ヤウニ常置委員ト云フモノガアッテ、其
當時ノ常置委員ハ専ラ民選ノ常置委員
デ、官吏ハ加ッテ居ナカッタノデアリマ
ス、其當時サヘ相當地方ノ有力ナル人
ガ常置委員トナッテ其會議ニ參與シテ
十分ナル成績ヲ擧ゲ得タノデアリマ
ス、唯其後府縣參事會ノ組織ガ行政事
務的ノ事ヲ幾分加ヘ來ッタ結果トシテ、

官吏ヲ加ヘタモノデ、是ハ一時ノ便宜
デアッタト思ヒマス、既ニ今日地方ノ自
治思想モ發達シ、又府縣會議員等ニ於
テモ十分ニ地方行政事務ニ熟練、練達
ノ士ガ多イ今日ニ於キマシテハ、府縣
參事會員ハ府縣知事ヲ議長トスルノ
外、全部縣會議員互選ノ人ヲ以テ組織
スル方ガ自治ノ精神ニ副ヒ、眞ノ自治
ガ行ハレルコトニナラウト思ヒマスル
ガ故ニ、寧ロ此官吏ノ參事會員タル者
ハ廢止シタラ如何デアラウカ、此度政
府ニ於テ議案審查權ヲ廢メルト云フコ
トニナッテ居リマスルガ、其説明ノ理由
ヲ見マスレバ、其議決ガ殆ド効力ガナ
イト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ事務
ノ滯滯ヲ來スト云フ二ツノ理由ヲ以テ

ス、即チ府縣會ニ多數ヲ擁シナガラモ、
縣參事會ニ於テハ、府縣會ノ多數ノ意
見ガ縣參事會ニ現レナイト云フヤウナ
コトガ無イトモ限ラヌ、ソレデ往々ニ
シテ官吏參事會員アルト云フコトハ、
地方ノ政爭ノ具ニ供セラレ、縣當局ニ
於テモ往々惡用スルコトガアルノデア
リマス、ソレ故ニ双方ノ意味カラシテ
官吏參事會員ヲ廢メテ、全部縣會議員
互選ノ參事會員ヲ以テ府縣參事會ヲ組
織スルト云フコトハ、自治ノ精神ニ適
合シ、又既往ニ於ケル弊害モ除去スル
コトガ出來得ルト信ジマスルガ故ニ、
此點ニ對スル大臣ノ所見ヲ伺ヒタイト
思フノデアリマス、其次ニハ府縣參事
會ノ定員ノコトデアリマス、是ハ少シ
細カクナリマスケレドモ、趣旨ニ於テ
ハ自治權擴張ノ趣旨ニ於テ申上ゲル積
リデアリマス、現在府縣參事會ノ定員
ハ府ガ十名ト記憶致シマス、縣ガ八名、
此定員ハ選舉方法ヲ變更シテハ如何ト
思フノデアリマス、府ナルガ故ニ十名、
縣ナルガ故ニ七名ト云フコトハ何等理
由ハナイ、是ハ從來三府ト稱シテ此制
定當時ニ於テハ京都府ノ如キガ非常ニ
力ノアツタカモ知レマセヌガ、人口ニ於
テモ、財力ニ於テモ、制定後三十四年ヲ
經タ府縣發達ノ狀況カラ見マスレバ、
例ヘバ兵庫縣ノ如キ、或ハ福岡縣ノ如
キ、或ハ愛知縣ノ如キ、縣トハ言ヒ條、
施行後財力モ非常ニ殖エテ府縣會議員
ノ定數カラ申シテモ、京都府ハ僅ニ三

十九名デアルノニ、兵庫縣ハ五十四名、新潟ハ四十七名、愛知ハ五十一名デ京都府ヨリモ十人以上多イノデアリマス、其意味カラ申シマスレバ、寧ロ府縣會議員ノ數ニ按分シテ參事會員ノ數ヲ定メル方ガ、民意暢達ノ上カラ申シテモ、自治ノ精神カラ申シテモ適當デハナイカ、サウ變更スル方ガ適當デハナイカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、此兩點ニ付テ簡單ニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○若槻國務大臣 參事會員ヲ悉ク議員カラ選舉スル方ガ民意暢達ノ上ニ宜クハナイカ、官吏ヲ加ヘルト云フコトハソレダケ民意暢達ノ上ニ不十分ヲ感ズルヤウニ思フガ、サウ改正スル意思ハナイカト云フコトガ第一點ノ御尋デアリマス、如何ニモ議員ノ代表ノミニ致ス方ガ一段ト民意暢達ノ趣旨ヲ達スルコトデアラウト思ヒマス、唯併ナガラ小橋君モ御述ニナリマシタ通り、以前ノ常置委員會ト云フノハ詰リ縣會ノ開會ノナイ時ニ縣會ニ代ッテ議決スルト云フ機關デアリマシテ、是ハ如何様府縣會カラ選バレタ人ノミデアリマシタガ、府縣制施行以來參事會員ト云フモノハ、今御述ニナッテ通リ訴願ノ裁決ト云フヤウナ、普通ノ縣會ニ代ッテ議決スルト云フコトノ以外ニ、法制上ノ判斷ヲシテ行カナケレバナラスコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、其構成分子ノ中ニ行政並ニ法制ノコトニ精シイ者

ガ入ッテ居リマスコトガ便利デアルト云フノガ今日ノ組織デアラウト思ヒマス、殊ニ府縣ノ自治制ヲモット擴張シ、モット府縣ヲシテ自治ノ權能ヲ發揮セシメル方ガ宜シイト云フ御論ニ對シテハ、私共追々ハサウナラナケレバナラナイト申上ゲマシタガ、サウナリマスモ追々改正ヲ加ヘラレルデアラウト思ヒマスガ、今日ノ府縣ハマダ國ノ行政事務ヲ中ニ澤山取扱ッテ居ル、自治體トシテ完全ナル自治體ト云フ程ニナッテ居ナイモノデスカラ、ソコニ於ケル參事會員ト云ヘバ官吏ノ分子ガ加ハッテ居ルコトモ自然ノ結果デハアルマイカト思フノデアリマス、御論ハ決シテ御無理デハナイト思ヒマス、其趣旨ヲ以テ將來ノ改正ノ場合ニハ考慮シナケレバナラナイト思ヒマスガ、現在構成分子ニ官吏ヲ加ヘテ居ルト云フコトハ左様ナ意味デアラウト思ヒマス、今回ハ前申上ゲル通り、其所マデノ改正ヲ加ヘルト云フ所マデ行ッテ居リマセヌ、改正ハ參事會ノ構成ニマデ及ンデ居リマセヌガ、他日府縣制ノ全般ニ互テ改正ヲスル場合ニハ、御趣旨ハ考慮ノ中ニ加ヘテ十分研究セヌケレバナラスコトト思ヒマス、ソレカラ府ト縣トニ依テ參事會員ノ數ノ違フコトニ付テノ御質問ハ御尤デアリマス、今日ノヤウニナッテ來レバ、府ナルガ故ニ多數デナケレバナラス、縣ナルガ故ニ少數デ宜シイト

云フ道理ハナイト思ヒマス、唯沿革カラ云ヒマス、府縣ト云ッテ府ガ常ニ重キヲ置カレテ居ッタ、其沿革カラサウナッテ居ルノデアリマセウガ、是モ將來ハ大ニ考慮シナケレバナナルマイト思ヒマス、只今ノ所デハ今マデ其狀態ガ長ク續イテ來タモノデアルカラ、急ニ改メルニモ及ブマイト思ヒマシタノデスガ、併シ御質問ノ御趣旨ハ今日ニナッテ見レバ府ノ方ガ特ニ參事會員ヲ多クシナケレバナラス、縣ハ少クテモ宜イト云フ事情ハ薄クナッテ居ルト思ヒマス、是モ他日ノ攻究ノ上ニハ大ニ考慮セヌケレバナラスト思ヒマス

○小橋委員 府縣參事會員ノ關係ニ付テノ御答辯ガアリマシタガ、最早府縣制ガ施カレテ四十年餘モ經テ居リマスルシ、官吏ノ手ヲ借ラナクテモ法制、行政ノ能力ノアル立派ナ縣會議員ガ多クアルト信ジマスルガ故ニ、一日モ早ク縣會議員ノミヲ以テ參事會ヲ組織スルヤウニシタイト云フコトヲ希望致シマス、況ヤ參事會ニ於キマシテ府縣會ノ決議スベキ事項ヲ急務事項トシテ決議スル場合ニハ、官吏ハ決議ニ加ハラナイノデアリマス、府縣參事會ノ權限ノ中ニハ、急務事項トシテ府縣會ニ代ッテ議決スル場合ト、府縣會ノ委任シタル事項、府縣會ノ議決シタル範圍内ニ於テ議決スベキ事項トアリマス、此場合ニ於テハ府縣高等官モ加ハルノデアリマスガ、是等ノ場合ニ加ハルト云フコト

モ代決ノ場合ト精神ニ於テハ同様デア、寧ロ此場合ニ於テハ加ハラナイ方ガ精神ニ於テハ宜シクハナイカト思フノデアリマス、モウ一ツ伺ヒマス、地方團體ノ財政ノ基礎、殊ニ市町村ノ財政上ノ基礎ヲ鞏固ニスルニ付キマシテ、地方稅ノ問題ガ多クアルノデアリマス、各黨各派ニ於テ地方ニハ獨立ノ財源ヲ與ヘル、或ハ地方ノ負擔ヲ輕メテ地方ノ財源ニ餘裕ヲ與ヘナケレバナラスト云フ論ガアリマスガ、私ノ伺ハントスル所ハ、租稅收入ヲ此上増加スルト云フコトハ地方ニ於テハ餘程困難デアリマセウ、併ナガラ文化的施設ノ要求ハ時代ノ進歩ト共ニ益多クナルト思フノデアリマス、將來ハ義務教育年限延長ノ場合モアラウト思ヒマスガ、之ニ付テハ地方團體ノ歲入ニ付テ一層考慮ヲスル必要ガアリハセヌカト思ヒマスガ、稅外收入ニ重キヲ置クコトハ所謂自治團體ノ財政ノ基礎ヲ強クスルモノデアラウト思ヒマス、市制、町村制制定ノ時ニ於キマシテモ、稅ノ收入ニ依ルヨリモ、寧ロ稅外收入ニ依ルベシト云フコトガ制定ノ趣旨デアッタト思ヒマス、然ルニ實際ハ其趣旨ニ背反シテ、殊ニ町村ニ於テハ稅ノ收入ノミニ依テ居ル、基本財產其他稅外收入ハ寧ロ其一部ニ過ギナイ、勿論大都市ニ於テハ稅外收入ガ相當ニ多クナッテ居リマス、ソレデ將來地方財政ノ基礎ヲ鞏固ニシ、殊ニ町村ノ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル上ニ於

テ、基本財産造成ノコトニハ吾々局ニ當テ居ッタ場合ニモ努力致シマシタガ、今後ハ一層努力シナレバナラヌト思ヒマスガ、併シソレモ限ガアルノデ、基本財産造成ト云ッテモサウ無暗ニ企テラレナイト思ヒマスガ、市町村ノ稅外收入ヲ殖ス趣旨ノ下ニ、市町村企業法——ハ伊太利等デヤッテ居ルト記憶シテ居リマスガ、市町村ニ於テ相當ナル營利事業ヲ經營スル途ヲ開イテ、稅外收入ノ途ヲ開クコトハ、將來地方財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル上ニ於テ最モ必要ナ事デハナカラウカト思ヒマス、或ハ山間ノ町村ニ於キマシテモ小規模ノ事業モヤッテ居ルヤニ承知シテ居リマスガ、此趣旨ニ於キマシテ市町村企業等ノ計畫ヲササル御趣旨ハナイヤ否ヤ、極ク簡單ナ意味デアリマス

○若槻國務大臣 稅外收入デ市町村ノ財政ガ大部分賄ヒガ附クヤウニナリマシタナラバ、是程結構ナ事ハナイノデアリマス、唯今日迄迄モ基本財産ノ利益デ町村ノ財政ヲ賄フト云フコトハ私ハ統計ハ持ッテ居リマセヌガ、全國ニ極テ少數ダラウト思ヒマス、ホンノ二三ノ所ニ著シイ例ガアリマスガ、サウ云フ所ヲ除イテハ基本財産賄フコトハムヅカシイカト思ヒマス、所ニ依リマシテハ基本財産ヲ造ルガ爲ニ平日稅ヲ餘計ニ取ッテ置イテ、サウシテ基本財産ガ出來タナラバ稅收入ハ止メヤウト云フ考ヲ起シタ所ガアルヤウデアリマ

スガ、是ハ又市町村民ノ負擔ノ關係カラ必ズシモ德通スベキコトデアルト思ヒマセヌ、基本財産ガサウ云フコトデアレバ幸ニ今ノ動力デモ出ル所ニ企業ヲサセテ、其利益デ町村財政ヲ補ハシムル、是ハ至極宜カラウト思ヒマス、幸ニ山間ナドノ動力ヲ起スヤウナ場所ガアリマシテ、其設備ニ非常ナ費用ガ掛ッテ、借金ナドヲ殘スヤウナ勘定ガ立タヌコトデモ困リマセウガ、ソレガ相當ニ銷却ガ出來テ、跡ニハ立派ニ町村ニ財源ヲ提供スルヤウナ企業ガ殘ッテ來ル所ハ、私共ハ相當ニハ許シテヤラシメテ宜シカラウカト思ヒマス、今日既ニソレヲヤッテ居ル所モアリマス、動力ヲ自身ニ拵ヘマセヌデモ、他ノ動力ヲ買ッテ一自治體ダケニ電燈ヲ供給シテ居ル所モアルヤウデアリマス、是ハ獨リ財源ニスルノミデハナイカモ知レマセヌガ、企業ノ利益ノ若干ヲ財源ニ用キル意味モアルヤウニ思ヒマス、町村ノ企業ヲ獎勵スル譯ニ參リマセヌガ、町村ガ其企業ニ依テ得ル利益デ其財源ノ一部ヲ取得セシムルト云フコトハ、必ズシモ惡イコトデナイト思ヒマ

スガ、唯其企業法ヲ作ル可否ニ至ッテハ私ハ些トモ研究致シテ居リマセヌカラ、其點ハ政府委員カラ御答致シマス
○潮政府委員 只今御尋ノ市町村ノ企業法ハ是ハ内務省デモ數年前カラ研究ヲ致シテ居リマス、併シ今日迄其案ヲ十分纏メマシテ愈法律ヲ作ルト云フ決

心ヲ致シテ居リマセヌノハ、御承知デモゴザイマス通り市町村ガ企業ヲ致シテモ、總テノ企業ヲ許スカ許サヌカ、是ハ大問題デアリマス、無條件デ許スト云フコトハ大ニ考慮シナケレバナラヌ、サウ考ヘテ參リマス結局企業ヲ許スト致シマシテモ、矢張市制ナリ町村制ノ根本ノ公共事務ノ範圍ト云フコトニナッテ來マス、然ルニ公共事務ニ關スル仕事トシテハ時代ニ依リマシテ段階解釋ガ擴ガッテ來マス、以前ハ極端ナ事ヲ申シマシテ、電氣事業ハ公共事業デアルマイト云フヤウナ解釋デアリマシタガ、段々時代ガ進ンデ參リマス、單純ニ利益ヲ主眼ノ目的トシナイデ、公共ノ利益ヲ尊崇スル事業デアルナラバ、公共事業ト云フ解釋ノ範圍ニナッテ參リマシタ、隨テ今日デハ殆ド電氣事業ニ付テ疑ヲ挾ム者ガゴザイマセヌ、市場ノ如キモ市町村ガ商賣スルヤウニ考ヘテ反對ノ意見ガアリマシタガ、市町村ノ公益ノ爲ナラバ公設市場ヲ設ケルガ宜シイト云フコトニナッテ參リマシタノデアリマスガ、併シ今直ニ市町村企業法ヲ制定スル必要ガナイト考ヘテ居リマス、尤モ將來ノ事ニナリマシテハ直ニ此處デ御請合ヲ申上ゲル譯ニ參リマセヌガ、只今デハソレデ不都合ガナイト考ヘテ居リマス、殊ニ御示シナリマシタ電氣ハ今日山間ニ小規模ナモノノ希望ガアリマスレバ、差支ナケレバ許シテ居リマスガ、何分ニモ昨今

ハ小規模デアリマシテモ市町村ノ起債ニ依テ仕事ヲヤラナケレバナラヌコトガアリマス、ドウモ財政ヲ取締ルト云フ時代ニ町村ガ希望スルヤウナ起債ハドウデアラウカト思ヒマスガ、是ハ電氣事業ニ限リマセヌ、其他ノ公共事業ニ付キマシテ收益ノアルヤウナ事業モ起ッテ參ルコトト存ジテ居リマス、尙ホ念ノ爲ニ附加ヘテ置キマスガ、先程ノ參事會員ノ點デアリマス、三部制ヲ採ッテ居リマス所ハ十名デアリマス、福岡縣ノ如キハ三部制ヲ採ッテ居リマセヌ
○石坂委員 只今府縣ノ財務ニ關スル御質問ガアリマシタガ、ソレニ附加ヘテ一言御尋致シテ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス、政府ニ於カレマシテハ府縣ノ均一賦課ト云フコトヲ從來御認メニナッテ居ッタノデアリマス、ソレガ勅令ノ規定ニ依リマシテ三部制度ノ實行ヲシテ居ル府縣ニ限ッテ居ッタ、今回之ヲ撤廢セラレテ府縣ノ一部ニ於テ特ニ均一ノ賦課ヲ爲スコトガ出來ルト云コトニナッテ、ソレニ對シテ新ニ內務大臣ノ許可事項ニ御加ヘニナッタコトハ、府縣ノ均一賦課ヲ擴張スルコトヲ御認メニナル趣意カラ出テ居ルノデアリマセウカ、此精神ハ從來ト何等變ルコトハナイケレドモ、單ニ三部制バカリノ所デハ困ルカラ、他ノ府縣ニモ及ボスト云フ御趣旨カラ出テ居リマスガ、先

ズ此點ヲ伺ヒタイ
○潮政府委員 私カラ御答致シマス、

御述ノ通り從來ハ勅令デ定メルト云フコトニナツテ居リマシタ、其勅令ガ結局三部制ノ所ト云フコトニナツテ許シテ居リマシタ、今度改正ヲ致シマシタ精神ハ強テ三部制ノ所ニバカリ限ル必要ガナイ、事業ノ性質ニ依リマシテハ均一賦課ヲ認メルノ途ヲ開クコトガ最も適切デアリマイカト考ヘマス、然ルニ從來アリマセヌモノヲ新ニ擴ゲルノデアリマス、殊ニ地方民ノ負擔ニ重大ナ影響ガアリマスカラ、許可ヲ得タ上デ一部ヲ認メルコトニ致シタイト存ジマシタノデアリマス

○石坂委員 此問題ハ頗ル重大ナ問題デアリマイカト考ヘルノデアリマス、先般地方税制整理ノ爲ニ地方税ニ對シテ大ナル改正ヲ御加ヘニナツテ、新ニ家屋税ナドヲ御新設ニナツテ居ル關係カラ、種々ノ問題ガ府縣稅ノ賦課ニ起ッテ來ルコトト考ヘマス、一面府縣ニ於キマシテ最近郡制廢止ノ結果郡ノ營造物ヲ府縣ニ皆委讓シテ居ル、其結果郡ト市トノ間、郡ト郡トノ間ノ負擔ノ均衡モ隨分錯雜シテ居リマス、然ルニ何等勅令ノ規定モナク、府縣ノ爲スガ儘ニナツテ居ルノデ、唯許可ヲ與ヘルト云フダケデアリマシタナラバ、隨分面倒ノ事件ガ起リハセンカト云フコトヲ吾々ハ恐レルノデアリマス、一旦之ヲ議決致シマシテ、此法律ガ效力ヲ有スルヤウニナリマシタナラバ、如何ニ内務大臣ノ御職權ト雖モ、之ヲ取締ルコトハ

事實上困難カト思ヒマス、之ニ對シテ勅令ノ規定ヲ全然撤去シテ、府縣ノ不均一賦課ヲ許サレルニ付テハ、何カ餘程調査モセラレテ、或ハ土木費ニ對シテ不均一ノ賦課ヲ許ストカ、教育費ニ對シテ許ストカ、之ヲ許スニシテモ何カ御内規デモ御設ケニナリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○潮政府委員 不均一賦課ノ重大ノ關係ヲ及ボスト云フコトハ、私共モ石坂君ト全ク御同感デアリマス、決シテハ無暗ニ致スベキモノデナイ、出來得ベクンバ團體ト云フ理想カラ申シマスレバ、總テノモノヲ均一賦課ニ致シタインデゴザイマス、併ナガラ既ニ河川法ニ於キマシテモ、河川法ヲ適用シテ居ル河川ノ河沼ニ付キマシテハ、一部の賦課ヲ認ムルト云フヤウナコトガアリマス、河川法ノ適用及準用ガナイヤウナ河川ノ河沼ニ於キマシテハ、或ハ將來モ幾分カノ不均一賦課ヲ認メテモ宜カラウカ、斯ウ云フコトガ考ノ中ニアルノデアリマス、固ヨリ教育費ニ對シテモ警察費ニ對シテモ、何ニ對シテモ不均一賦課ヲ認ムルト云フコトニナリマス、極論致シマスレバ結局團體ヲ壊スコトニナリマスノデ、左様ナ考ハ毛頭アリマセヌ、許可ヲ致シマスニ付キマシテモ、マダ内規等ハ定メテアリマセヌケレドモ、其事業ノ性質、又不均一賦課ヲ致スコトノ可否、土地ノ者ノ負擔力、其他總テノ條件ヲ十分ノ

上ニモ十分ニ審査シタ上デナケレバ決定致シマセヌ、御心配ノヤウナコトハ努メテ起ラヌヤウニ致ス考デアリマス

○石坂委員 次ニ選舉ニ付テ伺ッテ見タイ、今回府縣會議員ノ選舉ニ付キマシテ……

○荒川委員長 一寸申上ゲマスガ、内務大臣ハ今日宮中ニ於テ御親任式ガアルノデ、御侍立ニナルト云フコトデ御退席ニナリマス

○石坂委員 地方議會ノ選舉ニ付キマシテモ衆議院議員選舉法ト同一ノ方法ヲ採ルコトニナリマシテ、候補者ノ届出、並ニ運動費ノ制限等總テ衆議院議員選舉法ト同一ノ取扱ヲ與ヘルコトニナツテ居リマス、就キマシテハ選舉長ト云フ者ハ餘程重要ナル位置ニナツテ居ルノデアリマス、從來ノヤウニ市町及ビ郡長ト云フ限ラレタル範圍ノ者ナラバ宜シウゴザイマスガ、數多イ官吏ノ中カラ知事ニ於テ選任スルコトニナツテ居リマス、所ガ其選舉長ノ選任ノコトニ付テハ何等ノ期限ガナイノデアリマス、選舉ノ告示ハ三十日前ニヤルコトニナツテ居リマス、ソレカラ推定スレバ無論三十日ヨリ前ニ選舉長ヲ御選任ニナルト思ヒマスガ如何デスカ、法文ノ上ニハ是ガアリマセヌ、衆議院議員選舉法ニモ同様ニナツテ居リマスガ、衆議院議員選舉法ハ郡長ヲ認メテ居ッ

タ時分ノ制定デアリマシテ、選舉長ノ範圍ガ狹イノデアリマスガ、今回ハ郡長ガ無クナリマシタ結果、何レノ官吏カラ選舉長ヲ選ムカ一向分ラヌ、又府縣知事ガ選舉長ヲ選任スル時期モ定メテナイ、又ソレヲ告示スル方法モ規定シテナイ、是ハ衆議院議員選舉法ニナイカラ、本法ニ於テモソレニ倣ッテヤラナカッタト云フ御主意デアリマスガ、其點モ伺ッテ置キタイ、今一ツ府縣會議員ノ選舉ニ對シテ費用ノ制限ハ法律ニ依テ定メナイデ、勅令ニ依テ定メルト云フコトデアリマス、衆議院ノ方デアリマスレバ一人ニ付四十錢ヲ超エルコトヲ得ズトナツテ居リマスガ、府縣會ノ方デハ何程ノ程度デ御定メニナリマスカ、御腹案ガアレバ伺ッテ見タイト思ヒマス

○潮政府委員 第一ノ御質問ノ選舉長ガ變ルノデアリマス、市デハ固ヨリ市長デゴザイマスガ、郡部ニ於キマシテハ從來ハ郡長デアリマシタガ、今回郡役所ヲ廢止致シマスルニ付テ、ドウ致シタラ宜カラウト云フコトデ當局モ此點ニハ大ニ苦慮致シタノデアリマス、本當ノコトヲ申シマスレバ、出來得ルコトナラバ關係町村長ノ中デ一人選舉長ヲ指定スル、ソレデ選舉ガ公正圓滿ニ行クナラバ最モソレガ宜シウゴザイマ

スガ、種々考ヘマシタ所、關係町村長ノ中デ一人ヲ選舉長ニ指定致スト云フコトモ、實行上多大ノ困難ヲ伴フヤウニ思ヒマス、己ムヲ得ズ地方長官ガ部下

員選舉法ニモ同様ニナツテ居リマスガ、衆議院議員選舉法ハ郡長ヲ認メテ居ッ

タ時分ノ制定デアリマシテ、選舉長ノ

範圍ガ狹イノデアリマスガ、今回ハ郡

長ガ無クナリマシタ結果、何レノ官吏

カラ選舉長ヲ選ムカ一向分ラヌ、又府

縣知事ガ選舉長ヲ選任スル時期モ定メ

テナイ、又ソレヲ告示スル方法モ規定

シテナイ、是ハ衆議院議員選舉法ニナ

イカラ、本法ニ於テモソレニ倣ッテヤ

ラナカッタト云フ御主意デアリマスガ、

其點モ伺ッテ置キタイ、今一ツ府縣會

員ノ選舉ニ對シテ費用ノ制限ハ法律ニ

ノ官吏ノ中一人ヲ指定シテ選舉長ニ致
スト云フノ策ニ出ヅルノ己ムナキニ至
ツタノデアリマス、倍サウシテ知事ハ
指定スルデアラウガ、期限ノ制限ガナ
イ、又告示ヲシテ公ニ知ラシメル方法
モ規定シテナイト云フ御説デアリマ
ス、法文ノ上ニハ誠ニ仰セノ通りニナ
テ居リマス、併シ一面府縣制ニ於テ議
員候補者ノ制度ヲ採リマス以上ハ、選
舉長ハ速ニ拵ヘテ置キマセヌト、議員
候補者ノ届出モ出來マセヌ、故ニ選舉
ノ告示ヲ致シマスレバ少クトモ其時ニ
ハ選舉長ヲ指定シテナケレバナリマセ
ヌカラ、自ラ是ガ知事ノ指定權ヲ拘束
致シマシテ、速ニ此指定ガ出來ルモノ
ト存ジマス、告示ノ點ハ或ハ法律ニ入
レテモ宜カラウカト思ヒマスガ、衆議
院議員選舉法ニモナカッタノデ、是ハ其
方ニ合セタケデアリマス、事實ニ於
キマシテ行政上ノ取扱ト致シマシテ
ハ、何人ガ何處ノ選舉長ニ選任サレタ
ト云フ告示ハ一般ニ致サセル積リデア
リマス、ソレカラ選舉費ノコトデゴザ
イマスガ、是ハ私カラ御答致シマシテ、
萬一間違ッタコトヲ申上ゲマストイケ
マセヌカラ、委員長ノ許可ヲ得マシテ
警保局ノ其方ノ主任ガ參ッテ居リマス
カラ、説明員トシテ發言ヲ御許ヲ願ッ
テ、御説明申ス方ガ宜カラウト存ジマ
ス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○荒川委員長 御異議ガナイト認メマ
ス、ソレデハ石原書記官

○石原内務書記官 選舉費用ヲ制限致
シマシタコトニ付キマシテ、其額ノ決
定ヲ勅令ニ讓リマシタノハ、第一ニ立
法技術ノ點デゴザイマス、衆議院議員選
舉法ハ、選舉ノ狀態ガ大體ニ於テ全國似
テ居リマスガ、縣會ノ方ニ於テハ人口
ノ關係、地域ノ大小ナドガ非常ニ違ッテ
居リマスノデ、之ヲ或ル程度マデ公平
ニ又合理的ニ致シマスニハ、細カイ規
定ヲ要スルノデアリマス、ソレデ若シ
此法文中ニ細カク規定スレバ出來ナ
イ事モアリマセヌガ、改正ノ際ニ餘リ
衆議院議員選舉法ト違ッタ規定ヲスル
ノハ面白クナイト云フ所カラ趣旨ハソ
レニ據ッテ、而モ府縣ノ選舉區ノ狀況ニ
應ズル規定ヲスル爲ニ勅令ニ讓ッタノ
デアリマス、隨テ勅令ヲ制定スルニ方
リマシテモ原則ハ衆議院議員選舉法ニ
依リマシテ、唯或ル程度ノ階段ヲ設ケ
テ適當ナル規定ヲシヤウト云フコトニ
ナッテ居リマス、選舉區ニ配當サレマシ
タ議員ノ定數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ
日ニ於ケル有權者ノ總數ヲ除シテ得タ
數ヲ四十錢ニ乗ケタ數、其原則ハ矢張
守ルコトニナッテ居リマス、大體調査シ
マシタ標準デハ府縣デハ四五千圓見當
ヲ平均ニシマシテ、人口ノ數地域等ヲ

考ヘマシテ動クヤウニ規定サレルト思
ヒマス、マダ原案トシテハ定マッテ居リ
マセヌ

○石坂委員 只今立法技術ノ關係デ勅
令ニ讓ッタ云フ御趣意ハ拜承シマシ
タガ、私ノ伺ハントスルノハ、衆議院議
員ノ方ハ四十錢デアルガ、縣會ニハ幾
ラ位ヲ御標準ニナッテ居ルノカ、其點ヲ
御聽キシタカッタノデスガ、其點ガマダ
確定シテ居ラナケレバ、敢テ是レ以上
御聞キスル必要モアリマセヌ、次ニ選
舉名簿ノ事デアリマスガ、選舉名簿ハ
市町村會議員ノ名簿ヲ其儘用ヒサセル
ト云フコトハ、極メテ適當ナ御考デア
ラウト思ヒマスガ、併シ是ト同時ニ私
共少シク杞憂カモ知レマセヌケレド
モ、從來府縣會議員選舉名簿ハ郡役所
ニ一冊、町村役場ニ一冊持ッテ居ッタ、此
爲ニ非常ニ都合ガ好カッタ、數多イ町村
役場ノ事デアリマスカラ場合ニ依テ紛
失スル事モアリマスシ、燒失スルコト
モアルノデス、現ニ吾々ハ其實例ヲ見
テ居ル、今回全部一冊制度ヲ御採リニ
ナッタコトハ、吾々ハ多少不安ノ念ニ驅
ラレテ居ル、殊ニ政爭ノ激シイ町村等
ニ於キマシテハ、御承知ノ通り町村役
場ナルモノハ、サウ人數モ餘計居リマ
セヌ場合ニ依ッテハ全部役場ハガラ明
キニシテ外ヘ出テ居ル事モアリマス、
サウ云フヤウナ場合ニ若シ肝腎ナ名簿
ノ紛失デモスルト云フ事ニナッタナラ
バ、ソレコソ臺ナシニナッテシマフ、此
點ニ付テ是ハ矢張從來ノ通り市役所ノ
如ク多人數ノ居ル所デアリマシテ、又
ソレゾレノ保管ノ方法モ嚴重ニ立ッテ
居ル所ナラバ宜シイノデアリマスガ、
町村役場ニハ——ソレハ市役所以上ノ
所モアリマススケレドモ、數多イモノデ
アリマスカラ餘程簡單ニ事務ヲ處理シ
テ居ル所モアルノデアリマス、左様ナ
所ニ於キマシテ一冊バカリデ紛失スレ
バソレ切リト云フヤウナ所モアリマス
カラ、此點ニ付テ餘リ心配シ過ギタ質
問デアリマススケレドモ、何カ副本デモ
徵スルトカ云フ方法ヲ御採リニナル御
考デアリマスガ、私其ノ考デハ矢張從
來ノヤウニ一本ヲ選舉長ノ手ニ送り、
一本ヲ町村役場ニ持ッテ居ルト云フ制
度ガ宜シイデハナイカト考ヘルノデア
リマス、ソレカラ今一ツ名簿ノ事ヲ序
ニ伺ヒマスガ、從來ハ町村會議員名簿縱
覽ハ市ニ於テモ町村ニ於テモ七日間デ
アッタ、ソレヲ今回十五日ニ御延シナ
ッテ居ル、村々デ縱覽サセルノデアリ
マスカラ、十五日ナドト云フ長イ間ヲ
要セヌデハナイカ、是ハ從來通り矢張
七日位デ宜イモノデハアルマイカ、ソ
レヲ十五日迄御延シニナッタノハ何カ
深イ理由ガアリマスガ、此二點ヲ先以
テ伺ヒタイ

○潮政府委員 御答申上ゲマスガ、從
來ノ選舉名簿二冊ヲ此度ハ一冊ニ致
シマシタ、御心配ノヤウニ或ハ政爭ノ
激シイ所デハ思掛ケナイ事ガ起ルデハ

アルマイカ、サウナクトモ紛失ト云フヤウナ事モ起ッテ困難ヲスルデアラウト云フ御心配ノヤウデゴザイマス、固ヨリ一冊一箇所ニ置キマスヨリハ二冊ヲ二箇所デ保管致スト云フ事ガ、比較スレバ固ヨリ適當ナ方法ト存ジマス、併ナガラ一面ニ於キマシテ郡長ヲ廢止致シマシテ、其代リニ選舉長トシテハ地方長官ノ指定シマシタ官吏ガ出來マストハ申スモノ、元ト郡長ガ郡役所ニ坐ッテ居リマシテ選舉名簿其他ノモノヲ管理シタリ、町村長ニ向ッテ指揮シタリト云フヤウナ工合ニハ參リマセヌ、ドウシテモ郡役所ヲ廢止致シマスル以上ハ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ矢張思切ッテ此際一冊ニシテ町村長ノ諸君ニ重大ナル責任ヲ以テ是ヲ保管ナリ始末ニ方ッテ貰フノ外アルマイト考ヘテ居リマス、他ニ方法ヲ考ヘマシテモ是以外ニ私ハ無イト思フ、今御示シニナリマシタヤウナ選舉長ノ所ニ一部副本ヲ送ルト云フコトモヤッテ出來ヌ事ハアリマセヌケレドモ、サウスレバ矢張複雑ニナッテ來マシテ、同ジ手數ヲ掛ケテ副本ヲ作ッテ、ソレヲ縣廳カラ臨時派出ニナル選舉長ノ手許ヘ送ッテ置キマシテモ、選舉長ガ其名簿ニ依テ彼此レ町村ノ名簿ノ修正ガ出來ルカト云ヘバ、修正ナドニ付テモ隨分困難モアリマスシ、又自分モ役場ヲ持ッテ居ル譯デハアリマセヌカラ、町村役場ノ一部カ土藏デモ借リテ保管ヲスルト云フニ

過ギナイノデアリマスカラ、ソコマデ心配致シマセヌデモ、將來ハ町村長ニ責任ヲ以テ此保管整理ニ當ッテ貰フト云フコトニ致スノガ、郡役所ヲ廢シマス精神ト合致シテ適當デアラウト考ヘタノデゴザイマス、ソレカラ名簿ノ縦覽期間ヲ十五日ニ致シマシタ、是ハ衆議院議員選舉法ニ於キマシテモ丁度十五日間縱覽致サセマスノデ、敢テソレノミニ依ッタノデアリマセヌケレドモ、御承知ノ通り公民權ヲ持ッ者モ大變増加致シマスシ、人數モ多ケレバ自然之ニ對シテ緩クリ見サセル必要ガアルノデアリマシテ、寧ロ此方ガ公民ノ方ノ權利ノ擁護、權利ノ伸暢ニ重大ナル關係ガアリマスノデ、寧ロ延ベタ方ガ宜シイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、サウテ居リマス、九月十五日カラ調製期間ヲ同ジニ致シ、縦覽期間モ同ジニ致シテ、餘リ面倒ナクシテ一遍ニ役場ニ行キサヘスレバ衆議院ノ方ノ名簿モ見ラレル、又町村議員ノ方ノ名簿モ縦覽ガ出來ル、サウ云フ事ニシタ方ガ市町村民ノ便利デアラウト云フモノデ、旁ミキチント期日期間ト云フモノマデ一緒ニ致シテ居リマス、其邊ヲ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

ウカト思ヒマシタケレドモ、同僚ノ方カラ別ニ御聞キニナルヤウナ事ヲ聞キマシタカラ控ヘテ置キマシタガ、我國ノ選舉ハ衆議院議員ノ選舉ヨリ矢張地方團體ノ選舉ノ方ガ先ニナッテ居ッタノデアリマス、總テ選舉ノ事ハ矢張下級團體ノ方カラ訓練ヲ積ンデ、追々上ニ及ブト云フコトガ堅實ナ方法デアアルマイカト考ヘマスガ、其點カラ申シマスト將來我國ニ於キマシテモ、婦人ニ對シテ參政權ヲ與ヘルト云フ事ノ實現スルコトハ間違ナイコト考ヘマス、就キマシテ吾々ハ地方ノ事情カラ考ヘマス、總テノ婦人ニ參政權ヲ與ヘルト云フコトハ宜シクナイコトデアリマセウケレドモ、或ハ教育ノ程度、又ハ婦人ニ限ッテ或ハ特ニ納稅ノ程度ニ依リマシテ市町村會議員ノ選舉權ヲ與ヘルト云フコトガ適當ナ事デアアルマイカト考ヘラレル點ガアルノデアリマス、所ニ依リマス村ノ主立ツタ家ニ於テ、或ハ戶主ガ亡クナリ、男ガ亡クナッテ女ノ戶主ノ家モアリマス、ソレガ一ツノ大字ヲ支配スルヤウナ權利ヲ持ッ人モアル、サウ云フ者ニハ少シモ權利ガ無イ、サウシテ一方ニハ總テノ納稅資格ナドヲ撤廢シテ、誰モ彼モ選舉權ヲ有シテ居ルノニ、從來村ニ於テ相當權威アル者ハ婦人ナルガ故ニ選舉權ガ無イト云フコトハ、洵ニ權衡ヲ失シテ居ルヤウニ思ヒマス、是ハ實際問題デアリマス、村ノ村會議員ノ顔觸ナドモ、其家

ニ行ッテ聽カナケレバ決メルコトガ出來ナイト云フヤウナ相當ノ權威ヲ持ッテ居ル婦人ナドモ居リマス、サウ云フヤウナ所ニ於テハ、是等ニ對シテ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ一方方法デアアルマイカト思ヒマスガ、其點ハ——婦人參政權ノ問題ニ付テハ、隣リノ高橋君ガ專門デアリマシテ、私ガ伺フノハ少シ僭越デアリマスガ、私ノハ高橋君ノヤウニ總テノ者ニ與ヘルト云フノデアリマセヌ、從來私ハ保守主義ノ男デアリマシテ、殊ニ地方ノ團體ニ對シテハ餘リ選舉權ノ擴張ハドウカト思ヒマスガ、中ニモ特ニサウ云フヤウナ一點ニ於テ相當ナ注意ヲシテ居ル、識見ヲ持ッテ居リ、又相當ノ資産ヲ持ッテ居ル者モ少ナクナイノデアリマス、サウ云フヤウナ者ニハ相當制限ヲ置イテ選舉權ヲ與ヘルコトガ宜シクハアリマス、マイカ、此點ニ付テ御説明ヲ願ヒマス、御考ヲ伺ヒタイ

○潮政府委員 此問題ハ大變ナ大キナ問題デアリマスガ、先ヅ私カラ一應事務的ニ一ツ申上ゲマス、尙ホ後デ政府ノ方針ニ關スルコトハ政務次官カラデモ御願スルコトニ致シタイト思ヒマス、是ハ高橋君ノ御質問ニ對シテ倭次官ヨリモ本會デ御答ガアリマシタガ、私共モ同様ニ見テ居リマス、固ヨリ婦人ノ教育ノ向上、其他ノ知識ノ進歩等ハ昔日ノ比デアリマセヌ、中ニハ男子ニ優ル偉イ婦人モ澤山居リマスケレド

モ、大體カラ申シマスレバマダ一般的ニ、男子並ニ婦人ニ對シテ參政權ヲ與ヘルト云フコトハ如何デアアルカト考ヘテ居リマス、併ナガラ一般論ハ別ダト云フ御話デゴザイマスガ、縱シ御述ベノ通り、例ヘバ教育デヤッタラドウカ、或ハ納稅ニ據ッタラドウカ、斯ウ假ニ致シマシテモ、是ハ申スマデモナク男子ノ選舉權ノ擴張ニ付テモ、往年十圓ノ時代ニ或ハ教育程度デヤッタラ宜カラウト云フ説モゴザイマシタ、或ハ又納稅主義デヤッタラ宜カラウト云フ説モ出マシタ、其他軍隊カラ出タ者ニハ宜カラウト云フヤウニ、男子ノ選舉權ニ付テモ種々ノ標準ノ下ニ世間デハ論議ヲ十分盡サレマシタガ、結局中ニウマイ標準ガ無い、例ヘバ教育ノ程度デ婦人ニ參政權ヲ與ヘテ見ヤウトシテモ、然ラバ教育トハ何カ、或ハ女學校ヲ卒業致シタ者、更ニ降ッテハ義務教育ヲ終ツタ者ト云フヤウナ形式ニナリマセウト思ヒマス、サウスルト形式のニ學校ニ這入ラヌデモ、教育有ル者ニハヤラナケレバナラヌト云フ議論ニモナリマセウ、サウ云フヤウナ者ヲドウスルカ、ト云フコトニナレバ、結局試験ト云フコトニナラウカト思ヒマスガ、マサカ公民權、選舉權ヲ附與スル爲ニ試験ト云フコトハ口ニハ致シマスガ、實行ハ出來マセスト思ヒマス、又納稅ノ點ヲ採用スルト云フコトモ今日ノ狀況デハ如何デゴザイマセウカ、男子ノ納稅條

件ガ撤廢ニナッテ居ル此時代ニ、更ニ婦人ニ付テ納稅ニ據ッテ選舉權ヲ與ヘルト云フコトモドウデアラウカト思フ、然ラバ只今御話ノ通り、町村ニ於テハ社會的地位ノ高イ者ガアル、サウ云フ者ニダケ云フコトモ御一策デアリマスガ、兎角社會的地位ノ標準ヲ何處ニ探ルカ、殆ド是ハ收拾スベカラザルモノニナルノデナイカト思ヒマス、又單純ニ事務ノ上カラ考ヘテ見マシテモ、婦人ノ公民權附與、選舉權附與ト云フコトハ今直ニ之ヲ實行スルコトハムヅカシイト思フ、勿論婦人ノ地位ノ向上、政治的能力ノ進歩ト云フコトハ認メマヒマスガ、直ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ少シ一足飛ニナル感ガアルノデナイカ、ト申シテモ將來婦人ニ向ッテ中央ノ制度ナリ、地方ノ制度ナリニ付テ、參政權ヲ附與スル時代ガ來ナイト云フヤウニ絶對否認ノ考ヲ持ッテ居ルノデハアリマセヌガ、今日ノ所デハムヅカシイ問題デアルト考ヘテ居リマス

○石坂委員 次ニ吏員ノ組織ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、町村ノ助役收入役ノ選任ニ對シテハ、從來ハ助役ハ知事ノ許可ヲ受ケ、收入役ニ對シテハ郡長ノ許可ヲ受ケルコトニナッテ居リマスガ、之ヲ全部撤廢ニナッテ居リマス、サウシテ事實ニ於テハ認可ヲ受ケルコトニ依リマシテ、餘程適材ヲ得ルコトノ制度ニナッテ居ッタノデアリマシタ、之ヲ全部撤廢シテシマヒマス、或ハ多數ノ中ニハ如何ハシイ者モ當選スルヤウニナリハシマイカ、殊ニ收入役ノ如キニ至リマス、町村ノ財政ノ主任トナルノデ餘程重イ位置デアリマス、或ハ保證金ヲ取リマシテ中ニ保證金位デ、ハ追付カナインデアリマシテ、收入役ノ責任ト云フモノハ市町村ノ多數ノ者ガ公ノ收入金ヲ依託シテ安心シテ居ルベキ重要ナ位置デアリマスカラ、之ニ對シテハ何等カ認可ノ制度ガナイト云フコトハ、餘リ飛離レタコトデアリマスマイカ、此點ニ付テ若シ從來知事ニ於テ不認可ヲ與ヘタ例ガアルカ、又收入役ノ犯罪ナゾモアリマスカラ、其點ニ付テ當局ハ更ニ差支ナイト云フ御考デアリマセウカ、ソレヲ一言承リタイト思ヒマス

○潮政府委員 御答致シマス、此度ノ大體ノ法案ノ仕組ガ、一面ニ於テハ自治ノ委任事項ヲ殖シ、或ハ許可スベキモノモ許可ヲ得ズシテ宜イト云フ、詰リ委セル主義ニ致シテ居リマス、會議體ノ事ニ付テモ左様デゴザイマスシ、市制町村制ヲ通ジマシテ今御述ニナリマスヤウニ、市長トカ町村長トカ云フモノハ全責任ヲ背負フモノデアリマスカラ、市長ハ御裁可ヲ經、町村長ハ矢張認可ヲ經ルコトニ致シテ居リマスガ、此補助機關デアリマス助役トカ收入役ト云フコトニナリマスレバ、固ヨリ重要ナ職掌デアリマスガ、是ハ市長或ハ町村長ノ信任主義デ行キマシテ、町村長或ハ市長ヲシテ責任ヲ負ハシメ、町村會市會ヲシテ責任ヲ取ラセルコトニシタ方ガ宜イト考ヘテ居リマス、實例ヲ調べテ見マシテモ、昨日御手許ニ上ゲマシタ表ノ中デモ、町村ノ助役收入役ニ付テノ不認可ト云フコトハ一年ニ一ツ、二ツト云フコトデ、殆ド無イト申シテモ宜イ、之ニハ一面カラ考ヘマスレバ認可ト云フコトガアルカラ、氣ヲ付ケテ良イ人ヲ選ビマシテ、結局不認可ハナイト云フ見方モ出來マセウト思ヒマスガ、大體ニ於テ市制町村制ヲ通ジマシテ兎ニ角町村長ヲ信任シ、市町村會ヲ信任スルト云フ主義デ進ンデ行ク方ガ宜イト云フ考ノ下ニ立案シタノデアリマスカラ、自然市長ヲ押ヘ、町村長ヲ押ヘマシテ、後ハ自治ニ委セルコトニシテ居リマス、固ヨリ御心配ノヤウナ點ハナイテモアリマセヌガ、是ハ實行上トシデハ町村長ガ自覺シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○石坂委員 モウ一ツ伺ヒマス、先般本會議デ伺ヒマシタガ、町村會議長ト町村長ヲ兼テ居ル、之ヲ區別スルニ付テ當局ニ於テ何カナイカト言ッタ所ガ、所謂從來ノ法文通り其儘ニスレバ宜シイト云フ考デ御出シニナッタノデアリマスマイカ、既ニ郡會議員ト云フヤウナモノモ無クナッテ居リ、町村ニ於ケル所謂相當ノ名望家ガ爲スコトモナク、其就クベキ位置モ少イノデアリマ

ス、ソレデ町村會議長ノヤウナ名譽ノ位置ヲ設ケマシタナラバ、是等ノ人ミニ與ヘルコトガ却テ自治ノ進運ノ爲ニ宜シイコトニナリハセヌカト考ヘルノデアリマス、ソレデ極ク小サナ町村ニ於テハ今日ニ於テモ收入役ト村長トヲ兼ルコトガ出來ルノデアリマスカラ、サウ云フ所ハ又別ナ制度ヲ執レマスデセウガ、普通ノ町村ニ於テハ議長ト町村長トヲ別々ニシタ方ガ自治ノ圓滿ヲ期スル上ニ於テ効果ガアリハセヌカト考ヘマス、先般內務大臣カラモ御説明ガアリマシタケレドモ、私共ハ本會ノ説明ダケデハ満足スルコトガ出來ナイノデアリマス、之ニ對シテ御考ヲ承ッテ置キタイ

要スルニ町村會ト云フモノハ親類同志ノ相談會ノヤウナ考デ行クノガ町村自治ノ爲ニ宜クハナイカト思ヒマス、之ニ就テハ御示シノヤウナ例外ガナイコトハアリマセヌケレドモ、先ヅ町村會ハ現行ノ通りデ宜シイノデアルト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○工藤委員 私ハ府縣制、並ニ町村制ノ大體ニ付テ二三質問シテ見タイト思ヒマス、第一ニハ府縣ノ分合廢置ノ問題デアリマス、是ハ廢藩置縣以來明治ノ第一期時代ニハ府縣ノ廢置モ相當アッタヤウデスリマスケレドモ、爾來交通機關モ相當發達シ、近來ハ自治ニ對シテ自治權ノ確保ナドノ問題モヤカマシクナッテ居リマス、ソレカラ財政等ノ點カラ見マシラモ、ドウシテモ府縣ノ分合廢置ヲ斷行スベキ時期ハソロ／＼來テ居リハセヌカト思フノデアリマス、私ノ最モ痛切ニ感ジテ居ルノハ、此地方官ノ力ガ餘リニ微弱デアアル爲ニ、私ハ青森縣デアリマスガ青森縣ノ長官ナドハ大抵半歳カ一年位デ代ッテシマウ、是ハ私共カラ見マスレバ不適任ナ長官デアッタ故ト思フ、然ラバ何故此不適任ナ長官ガ來タノデアアルカト云ヘバ、之ニハ色々原因ガアリマセウガ、要スルニ地方官ノ權力ヲ擴メ、行政區域デモ擴メテ、モット相當ナ權限ヲ與ヘテ居ル、ソレデ私ハドウシテモ今日府

縣分合ノ必要ハ迫ッテ居ル問題デナイカト考ヘルノデアリマスガ、今回ノ府縣制ノ改正ハ固ヨリ吾ミカラ見マスト、大シテ此問題ニ觸レズニ此程度デ置カウ、根本問題ハ後日之ヲ解決シヤウト云フ御話デアリマスシタカラ、其點ハ諒ト致シマスケレドモ、此機會ニ府縣分合ニ關シ政府ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレルカ、ソレヲ第一ニ伺ヒタイ

○潮政府委員 只今考ヘテ居リマスコトハ、矢張內務大臣ガ本會議デ大體御答申上デマシタコトト違ヒハナイノデアリマス、要スルニソレハ町村ノ中デモ殆ド市ニ劣ラヌ町村モアリ、市ノ中ニモ町村ニ劣ルト見ラレルヤウナ市モアリマス、ケレドモ市制、町村制ト云フモノヲ分ケテ施行致シ、町村ト云フ制度ノ下デヤル所デハ強テ別ニ議長ヲ選ブ必要モナイノデアアル、又是ハ大キナ町村ト云フ御話デアリマスカラ、ソレニ對スル答辯ニハナリマセヌケレドモ、小サイ所ノ町村ナドニ參リマシテ町村長ト町村會議長ト云フモノガ對立スルヤウナコトニナリマス、却テ自治ヲ亂スヤウナコトモ有リ得ルト思フ、

○依政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシテハ本會議デモ、亦其他ノ委員會ニ於キマシテモ、政府ノ見ル所ヲ申上ゲテ置キマシタノデアリマスガ、此府縣ノ廢合ノ問題ハ以前ヨリ屢研究サレツツアル問題デアアルノデアリマス、多クノ人ノ意見ト致シマシテ府縣ヲモット廣クシテ、區域モ廣ク、且又權限モ大ニシ、一方又其主腦者ノ身分モモット力アルモノニ致ス、サウシテ府縣ノ行政ヲ旨クヤッタ方ガ地方行政トシテハ徹底スルデアラウト云フ御意見ハ、今申ス通り前カラ隨分主張サレ、論議サレテ居ル問題デアリマス、大體ノ御趣意ニ於テハ私決シテ之ニ反對スルモノデハアリマセヌガ、實際ノ問題トシテ之ヲ實行スルコトニ致シマス、餘程ノ困難ナ問題ガソコニアルノデアリマス、現在ノ形ニ於テ府縣ノ權限ヲ擴クシ、多クシテ出來ルダケ力強イモノニスルコトニ付キマシテハ、先刻小橋君ヨリ御質問ガアッテ大臣カラ御答ニナッテ居

ル點ニ於テ盡キテ居ルト思ヒマスガ、只今ノ御話ハ之ヲモット區域ヲ廣ク、サウシテ力ヲ強クスルト云フコトデアリマスガ、區域ヲ廣クスルト云フコトニ付テハ、成程只ハ御話ノ如ク昔日ヨリハ今日ハ交通ノ便モ整ヒ、隨テ相互ノ間ノ人情、風俗ニモ共通同化サレテ居ル部分モアリマスカラ、或ハ廣クシテモ宜シカラウト云フ如キ主張モアリマスガ、是モ實際ニ當リマス中ミノ困難ガアル、何處ニ困難ガアルカト申スト各府縣ハ各府縣ノ事業ヲ持ッテ居ル、御承知ノ通り府縣稅ヲ以テ府縣ノ事業ヲヤル、此事業ヲ決議スルノハ府縣會デアリマスガ、此事業ガアリマス爲ニ餘リ區域ヲ廣クスルト云フト、其事業ノ決議ニ當ッテ幾多紛争ガ起ルヤウナ事例ガアリマス、之ヲ例ニ取ッテ申セバ、彼ノ郡制ガアッタ時代ニ於テ郡ノ併合ト云フ問題ガ屢論議サレタニ拘ラズ、郡制ニ基イタ郡ノ事業ガアル爲ニ其郡ノ併合ガ容易ニ行ハレヌト云フコトガアリマシタガ、ソレヨリモット大キイ、モット面倒ナ府縣ノ事業ハ推シテ知ルベキモノガアラウト思ヒマス、區域ガ大キイダケニ紛争モ多クナル、其紛争トハドウ云フ種類ノモノデアアルカト云ヘバ或ハ道路問題ニシテモ、治水ノ問題ニシテモ、乃至又學校教育問題ニシテモ、是ガ均衡ノ問題ガ起リ、各地ノ爭奪問題ガ起リ、中ミ府縣會ニ於テモ自由ニ決議シ、圓滿ニソレ等ノ事業

ル點ニ於テ盡キテ居ルト思ヒマスガ、只今ノ御話ハ之ヲモット區域ヲ廣ク、サウシテ力ヲ強クスルト云フコトデアリマスガ、區域ヲ廣クスルト云フコトニ付テハ、成程只ハ御話ノ如ク昔日ヨリハ今日ハ交通ノ便モ整ヒ、隨テ相互ノ間ノ人情、風俗ニモ共通同化サレテ居ル部分モアリマスカラ、或ハ廣クシテモ宜シカラウト云フ如キ主張モアリマスガ、是モ實際ニ當リマス中ミノ困難ガアル、何處ニ困難ガアルカト申スト各府縣ハ各府縣ノ事業ヲ持ッテ居ル、御承知ノ通り府縣稅ヲ以テ府縣ノ事業ヲヤル、此事業ヲ決議スルノハ府縣會デアリマスガ、此事業ガアリマス爲ニ餘リ區域ヲ廣クスルト云フト、其事業ノ決議ニ當ッテ幾多紛争ガ起ルヤウナ事例ガアリマス、之ヲ例ニ取ッテ申セバ、彼ノ郡制ガアッタ時代ニ於テ郡ノ併合ト云フ問題ガ屢論議サレタニ拘ラズ、郡制ニ基イタ郡ノ事業ガアル爲ニ其郡ノ併合ガ容易ニ行ハレヌト云フコトガアリマシタガ、ソレヨリモット大キイ、モット面倒ナ府縣ノ事業ハ推シテ知ルベキモノガアラウト思ヒマス、區域ガ大キイダケニ紛争モ多クナル、其紛争トハドウ云フ種類ノモノデアアルカト云ヘバ或ハ道路問題ニシテモ、治水ノ問題ニシテモ、乃至又學校教育問題ニシテモ、是ガ均衡ノ問題ガ起リ、各地ノ爭奪問題ガ起リ、中ミ府縣會ニ於テモ自由ニ決議シ、圓滿ニソレ等ノ事業

ヲ遂行スルコトハ餘程困難デアリマス、斯ウシタ事例ハ既往ニ於テ澤山アリマス、曾テ香川縣ト愛媛縣トガ合併シテ居リマシタガ、是等ノ問題デ遂ニ分裂シ、又鳥取ト島根トモ併合シテ居ッタノデアルガ、是モ分立スルノ己ムナキニ至ッタガ、ソレ等ハ皆今申ス如キ事情カラ起ッタモノデアアル、ソレ故ニ主義ニ於テハ決シテ私ハ反對致シマセヌガ、實際ニ實行スルトナルト、ソコニ幾多ノ問題ガアリマスノデ、一面カラ申シマスト經費ノ問題デアリマス、經費ヲ合併シテ一縣ニシタ、其經費ハ何處ニ節約ガ出來ルカト申シマス、事業ノ執行ニ要スル吏員ノ數ハ變リマセヌ、事務ニ付テモ變リハナイノデアリマス、多少影響ハアリマセウ、早イ話ガ知事ノ數ガ減ルト云ツタヤウナモノニ止ッテ、技師トカ技手トカ云フ事務員技術員ニ至ッテハ格別併合ノ爲ニ節約サレルモノハ餘リアリマセヌ、而シテ他面ニ於テ先ニ申シマシタ如ク、併合シタガ爲ニ非常ニ紛争ガ起リ、府縣會ノ決議ニ反對スルヤウナコトガ屢生ズルコトニナリマス、實際問題トシテハ府縣ノ併合ト云フコトハ餘程困難デアリマス、是マデ屢研究サレテ未ダ行ハレヌ所ノ理由ガ此處ニ存スルダラウト思フノデアリマス

○工藤委員 ソレカラ市長ノ公選問題デアリマスガ、今回公民權ヲ擴張セラ

レマシテ、獨リ市町村會議員ヲ選舉スルバカリデナク、之ニ依テ縣會議員ヲ選舉シ得ル狀態ニナツタ、公民ハ市町村會議員ヲ選舉シ得ル力ヲ持ッテ居ルノデスカラ、市長ヲ選舉スル能力アリト認定シテモ宜カラウ、殊ニ或ハ一郡或ハ一市ニ於テ二名若クハ四名五名ノ縣會議員ヲ選ボトニナッテ居リマスカラ、此點カラ考ヘマシテモ市町村長ヲ其行政區域内ノ公民ニ選バシムルト云フコトハ、大シテ困難ナコトデハナイ、現在ノ市町村長ノ選舉ト云フモノヲ私共カラ見マスルト實ニ奇々怪々ナル選舉運動ガ行ハレテ居ル、殊ニ市町村制ニ依テ選舉權ハ段々擴張セラレテ、級別ヲ撤廢シテ居ルヤウナ町村ニ於テハ、丁度今過渡期ノ時代デアリマセウガ、互ニ勢力相伯仲シタ場合ニ於テハ、實ニ見ルニ忍ビナイヤウナ醜態ヲ演ジテ居ルノデアリマス、即チ少數ノ町村會議員ニ依テ選舉セラレルカラ斯ウ云フコトガ起ル、之ヲ緩和シテ實際市町村民ノ欲スル適任者ヲ得ルト云フコトハ、公民ニ依テ適當ナ方法デ選舉シ得ルト云フヤウニスルコトガ、只今ノ制度ヨリカ寧ロ宜シイカト思フノデアリマスケレドモ、市ト申シマシテモ勅令指定サレテ居ル市モアリマセウ、サウ云フ市ニ付テハ自カラ方法ガアリマセウ、中市以下ノ市長ヲ公民ニ依テ選舉スルト云フコトノ制度ノ御研究ガアリ、若クハ近キ將來ニ於テ其時期ガ

アリ得ナイデアラウカ、兎ニ角市町村長ヲ公選スルト云フ問題ハドウナッテ居ルカ、當局者ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○潮政府委員 只今工藤サンノ御説ハ近來厭耳ニ致シマス、市長ノ選舉ヲ寧ロ市會ニヤラセズニ市ノ公民全般ニ選バシタナラバモウ少シ早く出來ルデアラウ、或ハモット適切ニ行クデアラウト云フヤウナ御説ハ伺フノデアリマス、隨テ政府ガ今回改正案ヲ立案スル際ニモ無論此點ハ十分ニ考慮致シマシタ、致シマシタガ、今日考ヘテ居リマスル所デハ如何ニモ市會ト云フモノハ市民ノ代表ノ機關デアリマス、其市民ヲ代表シタル市會ガ市長ヲ選舉スルト云フコトハ、決シテ筋ニ於テ間違ッテハ居リマセヌ、或ハ私共ノ眼カラ致シマシテモ、今少シ適切ニ、今少シ手取り早クト思ハナイデモアリマセヌケレドモ、唯ソレアルガ爲ニ市會ガ市長ヲ推薦スルコトヲ改メテ、直接市ノ公民カラ市長ヲ出サセルト云フコトハ、是ハ又一方ニ非常ニ考ヘナケレバナリマセヌト思フノデアリマス、兎ニ角市長ハ市ヲ代表シタル執行機關デアリマシテ、若シ之ヲ直接市民ガ選ビマス、市民ヲ代表シテ居ル市ノ自治機關デアル所ノ市會ト、執行機關デアル所ノ市長ト云フモノノ間ガ圓滑ニ今日出來ルコトデアラウカ、若シ其間ニ争ガ出來、意志ノ疏通ヲ缺クト云フコトニナリマス、結

局今日ヨリ却テ自治ヲ案スヤウナ心配ガアリマス、尙ホ假ニ市公民ノ直接選舉ニ依リマシテ、果シテ今日以上ノ適當ナ人ガ得ラレルカドウカト云フコトハ、餘程是ハ考ヘモノダト思フ、公民ガ一般ニ選ンダ方ガ今日以上適任者ガ得ラレルト云フ確信ガ付キマスレバ、或ハ法ヲ改メテ宜シイト思ヒマスケレドモ、其事ニ付テ政府ハ未ダ今日以上ノ適任ナル市長ガ選バレルト云フ確信ヲ持チマセヌ、是ハ今日ノ儘置イテ市民ヲ代表スル市會ヲシテ推薦サセルコトガ、自治全般ノ上カラ申シテ却テ適當デアアル、斯様ニ考ヘタ次第デアリマス

○工藤委員 只今私ノ申シマシタノハ無論一説デアッテ、私共ハ市町村會ニ於テ適當ナル候補者三名位ヲ拵ヘテ、其中ニ付テ公民ガ選ボト云フコトモ一ツノ方法デアッテ、サウ致シマス、自治體ノ事務ヲ圓滑ニシテ行ケルト云フコトデ、此點ハソレダケヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、先刻地方ノ公共企業ニ關スル質問モアリマシタガ、私共ハ矢張地方ノ財源ヲ涵養スル爲ニ、何カ有利ナ事業ヲ公共團體ニ持タシムルト云フコトハ結構ナルコトデアルト思フ、併シ如何ナルモノガ適切ナル事業デアルカハ、勿論是ハ色々アリマセウケレドモ、實際地方ノ狀態ヲ見マスルト云フト、公共團體ハサウ云フ立派ナ企業ヲシテ財源ニデ

モシャウト云フモノガアツテモ、地方地方ノ一部少數ノ資本家ニ壟斷セラレテ居ル、是ハ監督官等ノ力ヲ俟タナケレバナリマセヌガ、出來ルダケハ公共企業ニ付テハ一ツ政府ノ御指導ヲ願フテ、出來ルダケノ便宜ヲ與ヘテ貫ヒタイト考ヘテ居リマス、サウシテ往々大キナ問題トナルノハ水力事業デアリマス、電氣ニ關スル事業デアリマス、是ハ私ノ聞イタ所ニ依リマス、府縣ニ於テモヤツテ居ッテ、相當成績ヲ擧ゲテ居ル所モアルサウデアリマスガ、是ハ議論ヲ避ケマス、府縣或ハ市町村ニ於テ此公共企業ヲ、ドウ云フモノヲドウ云フ工合ニヤツテ居ルカト云フコトニ付テ何カ御調ガアリマシタナラバ、ソレヲ一ツ私共ハ頂戴シテ、此地方財源ニ關スル問題研究ノ材料ニシタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○潮政府委員 公共企業ノ問題ニ付キマシテハ、先程モ御尋ガアリマシテ御答致シマシタト同様デアリマスガ、只今ノ最後ノ御話ハ何カ今日府縣市町村デヤツテ居ル公共事業ノ調ガアレバソレヲ出セト云フコトデアリマス、私ノ記憶デハ確カ刷物ガ少シ古イカモ知レマセヌガ、一兩年前調ベタモノガアルト存ジマス、後デ調ベテ差出スコトニ致シマス

○高橋委員 私少シ緊急ノ事デアリマスカラ、特ニ質問ヲ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、選舉法ノ施行ノ事デアリマス、一寸一言……

○荒川委員長 宜シウゴザイマス、簡單ニ願ヒマス

○高橋委員 此改正ノ附則ニ依リマスルト云フト、次ノ總選舉カラ此改正ノ規定ガ當筈マルヤウニナッテ居ルノデアリマス、サウ致シマスルト云フト、ソレハ此改正案ガ帝國議會ヲ通過スルト云フト、直ニ效力ヲ發生スルト云フコトニナリマスルカ、無論公布後デアリマセウガ、何時頃ニナルト云フ時日ノ問題、六月ニ行ハレル東京ノ市會議員ノ選舉トカ、或ハ關西方面ニ行ハレル七月アタリノ選舉ニハ此改正法ガ適用ニナルカドウカト云フ意味ヲ明ニシテ置キタイト思ヒマス

○潮政府委員 只今ノ御尋ハ實際上非常ニ大切ナ問題デゴザイマス、政府ノ解釋ト致シマシテハ、本法ガ兩院ヲ通過致シマシテ、是ガ公布ニナリマス公布ノ日マデニ、舊市町村制ニ依テ選舉人名簿ノ調製ニ着手シナカッタ選舉ハ新シイ法律ニ依リマス、餘リ固苦シク申上ゲマシテ御分リ惡イカモ知レマセヌガ、速記ヲ御讀ミ下サルト其方ガ分リ好イカト思ヒマス、例ヘバ六月ノ一日ニ公布ヲ假ニスルト致シマス、サウスルト公布前ハ詰リ舊法、即チ現行法ガ施行サレテ居リマスルカラ、選舉期日六十日目ノ現在ニ依リ選舉人名簿ノ調製ニ着手シナケレバナラヌ、其公布ノ日ノ翌日ガ選舉期日前六十日目ニ當

ルヤウナ選舉ニハ新法ガ適用サレマス、是ハ此度發明シタ解釋デハアリマセヌノデ、從前ノ大正十年デゴザイマス、此時ノ改正ニモ當時ノ地方局長カラ各地方官ニ通達致シテ居リマスルシ、又此件ハ幸ニ行政裁判所モ同様ナ解釋ヲ致シテ居リマス、一寸讀ンデ置キマスルガ、地方長官ニ對スル通牒ハ斯ウ云フヤウニナッテ居リマス、「次ノ總選舉トハ本法公布ノ日タル四月十一日ニ於テ未タ總選舉ノ手續ヲ開始セサルモノ、即チ選舉人名簿ノ調製ニ着手セサルモノヲ指稱ス、隨テ四月十二日以後ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スルモノニ對シ本法ノ適用アル筋合ニ有之」斯ウ云フ趣旨ガ通牒シテゴザイマス、ソレカラ行政判例トシマシテモ大正十年ノ事件デアリマス、十一年ニ宣告ガアリマシタ、附則ノ所謂次ノ總選舉トハ改正市制中投票ノミナラス其他選舉ニ關スル規定ノ全部ヲ適用シ得ヘキ次ノ總選舉、即チ選舉ニ關スル規定中、選舉ノ出發點ナル選舉人名簿調製標準期日ハ改正市制ノ公布後ニ屬スル直近マテノ總選舉ヲ指稱ス」是ハ裏カラ言ッテ居リマスガ趣旨ニ於キマシテハ一致シテ居ルモノト存ジマス

○荒川委員長 今日ハ午後ハ本會議ガアリマスルカラ、今日ノ委員會ハ此程度ニシテ置キマシテ、明日ハ午前十時ヨリ午後ニ引續イテ審議ヲ致シタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」
○荒川委員長 ソレデハ左様御承知ヲ願ヒマス、今日ハ之ニテ散會致シマス
午後零時十七分散會